

環境大臣 西村明宏 殿  
経済産業大臣 西村康稔 殿

## G7 環境大臣会合による汚染水海洋放出・汚染土再利用の承認を装う 改ざんされた共同声明「日本語訳」を撤回し、 汚染水海洋放出・汚染土再利用を直ちに停止するよう申し入れます

4月15・16日に札幌で行われたG7気候・エネルギー・環境大臣会合終了後の記者会見で「(西村康稔経産大臣は)『処理水の海洋放出を含む廃炉の着実な進展、そして、科学的根拠に基づく我が国の透明性のある取り組みが歓迎される』と説明。隣で聞いていたドイツのレムケ環境・原子力安全相は『原発事故後、東電や日本政府が努力してきたことには敬意を払う。しかし、処理水の放出を歓迎するということとはできない』と反発した。

西村氏は会見後、報道陣に『私のちょっと言い間違えて、『歓迎』に全部含めてしまった』と釈明。処理水の放出については『IAEAの独立したレビューが支持された』と訂正した」と報じられています(4月16日 朝日新聞デジタル\*<sup>1</sup>)。

ところが、環境省ウェブページで公開された4月16日付「G7気候・エネルギー・環境大臣会合コミュニケ」の日本語訳\*<sup>2</sup>の71項「福島第一原子力発電所の事故対応」の2番目の文章に、「我々は、同発電所の**廃炉及び福島**の復興に不可欠である**多核種除去システム(ALPS) 処理水の放出**が・・・」と書かれています(赤字は引用者による)。

記者会見の席上で「処理水の放出を歓迎するということとはできない」と明言し西村経産大臣を公然と批判したドイツのレムケ環境・原子力安全相が同席していた会議で、「多核種除去システム(ALPS) 処理水の放出が廃炉及び福島の復興に不可欠」などという共同声明が合意されるはずはありません。

対応する英文\*<sup>3</sup>には、We support the IAEA's independent review to **ensure that** the discharge of ... (ALPS) treated water will be conducted consistent with IAEA safety standards and international law **and that** it will not cause any harm to humans and the environment, **which is essential for the decommissioning of the site and the reconstruction of Fukushima.**と書かれています。骨組を訳すと「我々はALPS 処理水の放出が IAEA 基準や国際法にそって行われ、人や環境に害を及ぼさないことを確実に確認するために IAEA のレビューを支持する。そして人や環境に害を及ぼさないことは**廃炉と福島復興に不可欠である**」ということです。「廃炉と福島の復興に不可欠」と書かれているのは「人や環境に害を及ぼさないこと」なのに、「日本語訳」では「ALPS 処理水の放出が『**廃炉と福島**の復興に不可欠』」となっているのです。これは明らかに改ざんです。which の前にカンマ(,)がある関係代名詞の非制限的用法なので、which が that で始まる2つの節の両方((ALPS) 処理水の放出が IAEA 基準などにそって行われること+人体や環境にいかなる害も及ぼさないこと)を指す可能性もありますが、「日本語訳」が改ざんであることに変わりはありません。

改ざんはもう1箇所あります。「日本語訳」71項の最後に「我々は、オープンで透明性をもって、国際社会との緊密なコミュニケーションをとりながら進められているこれらの取組を継続するよう、日本に奨励する。」となっています。「これらの取組」とは「除去土壌の再生利用と最終処分」です。

元の英文は We encourage Japan to proceed with these ongoing initiatives in an open and transparent manner, in close communication with the international community. です。「我々は、日本が、これらの進行中の取り組みを、オープンかつ透明に、国際社会と緊密に連絡をとりながら行うよう奨励する。」が本来の訳です。例えばin an open mannerは通常、名詞以外の動詞、形容詞、副詞などを修飾する副詞句です\*4。「日本語訳」は副詞句である in an open and transparent manner, in close communication with・・・を、initiative（取組）という名詞を修飾する形容詞句として翻訳し、「除去土壌の再生利用と最終処分」が「オープンで透明性をもって、国際社会との緊密なコミュニケーションをとりながら進められている」と認められたかのように装っています。これも明らかな改ざんです。

4.16記者会見における西村経産大臣の発言は「言い間違い」ではなく「日本語訳」に沿ったものであり、「訂正」してもなお、2箇所が改ざんされています。

2日間にわたる議論の末に採択された合意文書を、勝手に改ざんして発表するとは、実に失礼極まりないことです。これでは日本政治は外国からも、国内でも、信用されません。汚染水の海洋放出や汚染土の再利用も、偽りの安全宣伝をもとに進められてきました。

汚染水・汚染土問題を担当し、G7環境大臣会合に出席された両大臣が、「日本語訳」の改ざんを認め、撤回するとともに、汚染水の海洋放出および汚染土の再利用を直ちに停止するよう、申し入れます。5月18日正午までに連絡先メールアドレスにご回答ください。

2023年5月12日

放射線被ばくを学習する会  
連絡先

ドルトムント独日協会,Peace Philosophy Centre,放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会,原発やめよう/つながろう関西マダム会議,京都・水と緑をまもる連絡会,平和と民主主義をめざす全国交歓会/ZENKO,関電前プロジェクト,脱原発高槻市民ネットワーク,泊原発廃炉の会・そらち,全労協退職者ユニオン, NPO 法人市民放射能監視センター（ちくりん舎）,グリーン市民ネットワーク高知,Yosomono net France,福島老朽原発を考える会（フクロウの会）,ECHO—ECHANGES,反原発（反原発労働者行動実行委員会）,さよなら玄海原発の会・久留米,避難計画を考える滋賀の会,内部被ばくを考える市民研究会,ポレポレ佐倉,ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）,いしかり風力発電研究所,福井から原発を止める裁判の会,原発廃炉金属の再利用を監視する市民の会,市民立法「チェルノブイリ法日本版」をつくる郡山の会,原発の危険性を考える宝塚の会,NPO 法人エコロジー・アーキスケ

ープ,平和憲法を広める狛江連絡会,さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ,I 女性会議,RHR リテラシー研究所,玄海原発反対!からつ事務所,イチモクの会 ドイツ・シュトゥットガルト,沖縄環境ネットワーク,地球救出アクション 97,今を生きる会,日本国際法律家協会,NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト,玄海原発プルサーマルと全基ををみんなで止める裁判の会,<ウイズアス・プロジェクト>,未来の福島こども基金,北海道のエネルギーの未来を考える 10000 人の会,新潟水俣病訴訟を支援する会,Sayonara Nukes Berlin,脱原発をめざす女たちの会・北海道,原爆被害者相談員の会,原爆胎内被爆者全国連絡会,ぶんぶんトークの会,憲法を活かす市民の会・やまぐち,ふるさとを守る高浜・おおいの会,六ヶ所村の新しい風,泊原発の廃炉をめざす会十勝連絡会,地方自治を考える市民の会,放射能から豊中の市民・子どもを守る会,原発問題を考える女性ネットワーク,厚木市民九条の会,北京 JAC (世界女性会議ロビイング・ネットワーク),宮崎の自然と未来を守る会,原発いらん!山口ネットワーク,さよなら原発品川アクション,JFOR 日本友和会,ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン,いのち・未来うべ,脱原発かわさき市民,アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム,原発と気候危機を考える狛江の会,SAYONARA Genpatsu Düsseldorf,カトリック札幌教区正義と平和協議会,さよなら原発神戸アクション,アジア女性資料センター,JAN (Japanese Against Nuclear) UK,サヨナラ原発けいじばん,上関原発用地埋立禁止住民訴訟の会,ヒバク反对キャンペーン,泊原発を再稼働させない・核ゴミをを持ち込ませない北海道連絡会,三陸の海を放射能から守る岩手の会,放射能防御プロジェクト岡山,東日本大震災被災者支援千葉西部ネット,人民の力長野協議会,熊本県・矢部同和教育研究サークル,チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西,京都脱原発原告団,ふくおか緑の党,博多湾会議,山口被爆二世の会,放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク,脱原発ネットワーク茨城,未来を生きるあなたへ…実行委員会,未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター (C-ラボ),自由法曹団女性部,連帯労組・やまぐち,NPO フォーラム庄野,子どもの人権を考える市民の会,原発さよなら千葉,NPO 法人チェルノブイリへのかけはし,ドルトムント独日協会 (ドイツ),新宿御苑への放射能汚染土持ち込みに反対する会,柏崎巻原発に反対する在京者の会,日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会,いしかり苺の会,原発おことわり三重の会,さよなら原発 1000 万人アクション in 岡山実行委員会,原発問題を考える埼玉の会,原水爆禁止岡山県民会議,社会民主党岡山県連合,婦人国際平和自由連盟日本支部,高木学校,埼玉西部・土と水と空気を守る会,子どもたちの未来と被ばくを考える会,NPO 法人 新宿代々木市民測定所,(公財) 日本キリスト教婦人矯風会,金八デモ (原発反対八王子行動),福島子ども・こらっせ神奈川,泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会,アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam),NPO 法人原発災害情報センター,日の出の森・水・命の会,虹とみどりの会,緑ふくしま,緑の党グリーンズジャパン,「たまあじさいの会」,反戦老人クラブ・京都,甲状腺被ばくの真相を明らかにする会,とみやナチュラルファーム,スイス アジサイの会/Swiss Ajisai-no-Kai, 脱原発・自然エネルギーをすすめる苫小牧の会,ベクレルフリー北海道,核ゴミ問題研究会,脱原発をめざす北電株主の会,福島原発事故被害救済九州訴訟原告団,チーム 3.11 を忘れな

い,日本カトリック正義と平和協議会平和のための脱核部会,核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団,水俣病溝口訴訟弁護団東京事務局,脱原発の日実行委員会,彦根・愛知・犬上原発のない社会をつくる会,原発ゼロへ・生駒の会,原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会,福島の子もたちとともに・湘南の会,福島の子もたちとともに・西湘の会,子どもの未来を守る会さくらがわ,泊原発の廃炉をめざす会釧路地域連絡会,鎌倉平和学習会,時を見つめる会,エネルギーの未来を考える会(福岡県福津市),原子力規制を監視する市民の会,熊本・原発止めたい女たちの会,矯風会熊本グループ

(5月12日 午前10時現在 計147団体)

\*1 <https://digital.asahi.com/articles/ASR4J51RRR4JULFA004.html>

\*2 <https://www.env.go.jp/content/000127829.pdf>

\*3 <https://www.env.go.jp/content/000127828.pdf>

\*4 [英文法用語事典](#)

<https://eow.alc.co.jp/search?q=in+open+manner>